

# 「高齢化・市民活動部会」 まちづくり政策提言

若者（学生）から高齢者までのマンパワーを活かす持続性のあるシステムづくり ⑦

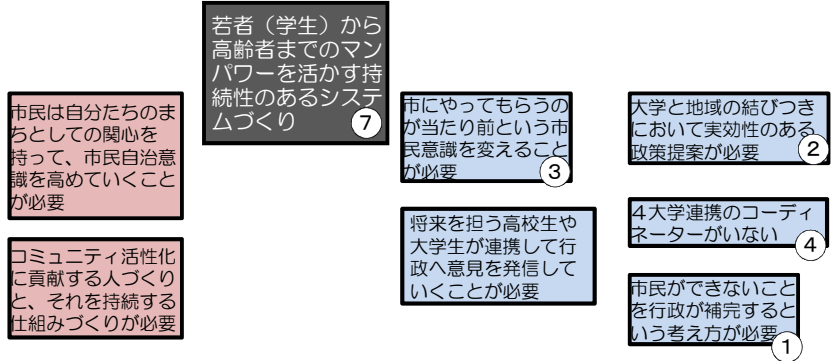
コミュニティ活性化に貢献する人づくりと、それを持続する仕組みづくりが必要

（福祉・元気なお年寄・市民活動）

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
<b>ハード</b>	<p>道立高等養護学校の透致 ④</p> <p>重度障がいの子が市内の学校へ通えるようなバリアフリー化が必要 ②</p> <p>重度障がい児のための学校施設等の整備が必要 ①</p> <p>高齢者と子どもが集える環境整備 ①</p> <p>何かしたい人が気軽に集まれるコミュニティ広場の整備 ④</p> <p>地域のサロンづくり等が必要</p> <p>学校の空き教室を利用した高齢者が学べる場所の整備 ⑥</p> <p>高齢者が活躍できる(働ける)場づくり ⑤</p> <p>サロンづくりの場所としてシャッター街を上手く活用 ②</p> <p>デイの送迎バスを利用し、学校の空き教室を使用し、みんなが集える環境を整備し、学校給食を提供する ⑧</p> <p>年寄りが生活していく上での利便性を維持するための対策が必要 ②</p> <p>ミニスーパーの整備 ⑥</p> <p>買い物用の巡回バスの運行 ⑤</p> <p>高齢者を中心に買物・通院・コミュニティ活動への足の確保（民間バス・送迎バスの活用） ⑦</p>	<p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による高齢者への配慮 ⑤</p> <p>個人住宅のバリアフリー化</p> <p>介護施設の整備、入居基準の柔軟化</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による障がい者への配慮 ⑧</p> <p>発達障がい児が利用できるサービスや施設を提供する民間事業者の誘致 ①</p> <p>高齢化した障がい者が安心して住めるグループホーム・ケアホーム等の増設 ②</p>	<p>視覚障がい者に配慮したハード整備 ①</p> <p>目的地音声標識ガイドシステムの導入</p> <p>盲導レールの充実</p> <p>音声付信号の充実</p>	
<b>ソフト</b>	<p>単身高齢者介護の充実 ③</p> <p>高齢者への学校給食の提供 ②</p> <p>介護予防のためのまちなみ健康増進（医療費削減）必要 ②</p> <p>単身高齢者が集まり、助け合える場づくり ③</p> <p>高齢者団体の色々な行事で市民が「交わる」ことが重要</p> <p>若い世代との交流が必要 ②</p> <p>障がい者介護の充実 ⑥</p> <p>障がい者の参加による市の福祉計画の策定 ②</p> <p>子ども世代を巻き込むような活動、世代がつながっていく活動が必要 ①</p> <p>まちづくり支援事業で他団体との出会いの場の設定が必要 ③</p> <p>新しい行事をやるにしても自治会の活動資金が不足 ①</p> <p>市民活動団体では優秀なスタッフの報酬を確保できない ①</p> <p>広汎性発達障害の専門家育成 ②</p> <p>小学校高学年以上の障がい児の放課後支援事業 ②</p> <p>障がい者の就職相談支援 ③</p> <p>障がい者にも成年後見制度利用支援事業の取組みが必要 ②</p> <p>上級者向けの音声PC講座</p> <p>障がい者の就労の場（会社）を作ってもらいたい ①</p> <p>安心して地域生活を送るための相談支援事業や窓口の充実 ②</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと思える医療体制づくり ③</p> <p>個別診療科目をしっかりと充実させることが必要</p> <p>医療費補助の拡大（療育手帳Bも対象に）</p> <p>在宅福祉において、介護保険制度外の必要なサービスを、江別独自の制度をつくる ⑤</p> <p>老人家庭に於ける日常生活での不便さ、その改良希望等の情報募集を行い、 ・公的資金利用のPR ・優良業務の紹介等を行うような仕事 ②</p> <p>広報活動や健康診断への助成を拡大</p> <p>早期発見、早期治療のために検診の充実</p> <p>スポーツによる高齢者の健康づくり</p> <p>国保のデータ分析などによる効果的な医療と介護体制の構築</p> <p>高齢者が活躍する街（介護保険料が安い街） ③</p> <p>高齢者の大学利用</p> <p>高齢者のコミュニティビジネスの取組みによる生きがいづくり</p> <p>継続性のある活動とため、4大学の学生で構成する学生団体を立ち上げて地域のイベントに参加</p> <p>学生のときに立ち上げたまちづくり活動を卒業後も続けられる仕組みが必要</p> <p>大学と協力してより多くの海外の人を受け入れて江別を国際化する</p> <p>4大学連携のコーディネーターがいらない ④</p> <p>活動が活発な自治会の役員を表彰するなど自治会活動にインセンティブを与えて活性化</p>	<p>4大学が連携し、学生が主体となって江別市開催イベントの企画・運営を行う</p> <p>4大学共同で年に1回市民も参加できる文化祭を実施</p> <p>4大学それぞれの得意分野を活かした技術開発と、それを対外的にプロデュース・PRする仕組みづくり</p> <p>高齢者の健康管理のために大学生が血圧測定をする場を設置</p> <p>若者にも視覚障がい者のガイドヘルパーの講習費用を助成 ②</p>	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす ① (検診の補助等含む)</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>急性疾患（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等）などの救急医療体制の強化・充実</p> <p>市立病院の夜間救急の対応の充実が必要</p>
<b>ハートづくり</b>	<p>障がい者団体の情報交換や連携の場がない ②</p> <p>引きこもりの人々への働きかけ ②</p> <p>「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要 ①</p> <p>若い人の意見・力の活用 ④</p> <p>主婦の意見・力の活用 ①</p> <p>市民活動団体に人的余裕がない ②</p> <p>市役所の仕組み、業務に詳しい市民活動のプロの育成 ④</p> <p>お金以外の部分で協働するためのコミュニケーションや連携が必要 ①</p> <p>女性自治会長、婦人部の人材がおらず女性の声が自治会に反映されにくい ①</p> <p>自治会などの市民活動が周知されていない ①</p> <p>独居老人の見守りを自治会でどう対応していくか ④</p> <p>広報を充実させ自治会に対する住民の意識の向上を図る ②</p> <p>個人情報保護の壁を越えた自治会や民生委員の活動 ⑤</p> <p>自治会での個人情報の取り扱いの難しさ</p> <p>年をとっても一人で生活できるまちづくり ③</p> <p>市にやってもらわなければならないという市民意識を養えることが必要 ③</p> <p>市民は自分たちのまちとしての関心を持って、市民自治意識を高めていくことが必要</p> <p>将来を担う高校生や大学生が連携して行政へ意見を発信していくことが必要</p> <p>市民ができないことを行政が補完するという考え方が必要 ①</p>	<p>市民活動の子育て事業に市の職員を研修で活用 ③</p> <p>行政は市民活動の現場を知らな過ぎる ①</p> <p>行政は市民ニーズを把握するため市民と一緒に考えることが必要 ②</p> <p>市民活動団体と市の若手職員が話し合う場の設定が必要 ⑥</p>	<p>学生を受け入れる受け皿が必要 ③</p> <p>大学と地域の結びつきにおいて実効性のある政策提案が必要 ②</p> <p>大学の行事への市民参加 ②</p> <p>自立支援協議会へ当事者団体の参画が必要 ①</p>	

# 「高齢化・市民活動部会」

## 全体テーマ



	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード			
ソフト			
ハートづくり			

「高齢化・市民活動部会」 戦略テーマ：若者（学生）から高齢者までのマンパワーを活かす持続性のあるシステムづくり ～福祉（高齢者・障がい者・子ども）～

	短期(すぐにも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<p>道立高等養護学校の誘致 ④</p> <p>重度障がいの子が市内の学校へ通えるようなバリアフリー化が必要 ②</p> <p>重度障がい児のための学校施設等の整備が必要 ①</p> <p>デイの送迎バスを利用し、学校の空き教室を使用し、みんなが集える環境を整備し、学校給食を提供する ⑧</p>	<p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による障がい者への配慮 ⑧</p> <p>道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による高齢者への配慮 ⑤</p> <p>音声付信号の充実</p> <p>視覚障がい者に配慮したハード整備 ①</p> <p>高齢化した障がい者が安心して住めるグループホーム・ケアホーム等の増設 ②</p> <p>介護施設の整備、入居基準の柔軟化</p> <p>発達障がい児が利用できるサービスや施設を提供する民間事業者の誘致 ①</p> <p>個人住宅のバリアフリー化</p> <p>目的地音声標識ガイドシステムの導入</p> <p>盲導レールの充実</p>	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす(検診の補助等含め) ①</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の夜間救急の対応の充実が必要</p> <p>急性疾患（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等）などの救急医療体制の強化・充実</p>	<p>ポイ捨て防止と健康増進のために、タバコを吸わない日をつくる</p> <p>食の安全が健康につながることを強調した特色づくりが必要</p> <p>市民と医師会が医療制度の現状と課題を共有することが必要</p> <p>障がい者施設等が身近なところが多い ①</p> <p>レンガ歩道は杖に引っかけ非常に歩きにくい ②</p> <p>歩道に自転車や看板などの突出物があり危険</p> <p>周辺自治体から医療機関利用のために江別に来ている</p> <p>他のまちへの医師派遣を行うなど市立病院が充実してきている</p> <p>市立病院の医療機器を当番制で市内開業医へ貸し出し ①</p> <p>優秀な医師の確保 ⑥</p> <p>大麻、文京台地区から市立病院へ通うための運賃補助 ②</p> <p>地域医療の担い手として市立病院は必要で、その存在が人口の定着やイメージアップに貢献</p> <p>市立病院の民間への売却 ④</p> <p>福祉システムが充実すると、反面コミュニティが衰退することがある</p> <p>福祉事業を一つひとつ確実に行うことが必要</p>
ソフト	<p>障がい者介護の充実 ⑥</p> <p>障がい者の参加による市の福祉計画の策定 ②</p> <p>半身高齢者介護の充実 ③</p> <p>高齢者への学校給食の提供 ②</p> <p>介護予防のためのまろぐるみの健康増進(医療費削減)必要 ②</p> <p>広汎性発達障害の専門家育成 ②</p> <p>小学校高学年以上の障がい児の放課後支援事業 ②</p> <p>障がい者の就職相談支援 ③</p> <p>障がい者にも成年後見制度利用支援事業の取組みが必要 ②</p> <p>上級者向けの音声PC講座</p> <p>障がい者の就労の場(会社)を作ってもらいたい ①</p> <p>安心して地域生活を送るための相談支援事業や窓口の充実 ②</p>	<p>江別で子供を産んで、育てたいと思える医療体制づくり ③</p> <p>個別診療科目をしっかりと充実させることが必要</p> <p>医療費補助の拡大(療育手帳も対象に)</p> <p>国保のデータ分析などによる効果的な医療と介護体制の構築</p> <p>老人家庭に於ける日常生活での不便さ、その改良希望等の情報募集を行い、 ・公的資金利用のPR ・優良業務の紹介等を行うような仕事 ②</p> <p>在宅福祉において、介護保険制度外の必要なサービスを、江別独自の制度をつくる ⑤</p> <p>広報活動や健康診断への助成を拡大</p> <p>早期発見、早期治療のために検診の充実</p> <p>スポーツによる高齢者の健康づくり</p> <p>高齢者の健康管理のために大学生が血圧測定をする場を設置</p> <p>若者にも視覚障がい者のガイドヘルパーの講習費用を助成 ②</p>	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす(検診の補助等含め) ①</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の夜間救急の対応の充実が必要</p> <p>急性疾患（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等）などの救急医療体制の強化・充実</p>	<p>健康診断の結果、お薬手帳の結果等をデータベース化し、予防医療に活かす(検診の補助等含め) ①</p> <p>往診診療の充実 ⑤</p> <p>市立病院の夜間救急の対応の充実が必要</p> <p>急性疾患（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等）などの救急医療体制の強化・充実</p>
ハートづくり	<p>障がい者団体の情報交換や連携の場がない ②</p> <p>個人情報保護の壁を越えた自治会や民生委員の活動 ⑤</p> <p>引きこもりの人たちへの働きかけ ②</p> <p>「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要 ①</p> <p>自治会での個人情報の取り扱いの難しさ</p> <p>独居老人の見守りなどのために、自治会よりもっと小さい単位のコミュニティづくりが必要</p>	<p>自立支援協議会へ当事者団体の参画が必要 ①</p>		

# 「高齢化・市民活動部会」

戦略テーマ：若者（学生）から高齢者までのマン  
 パワーを活かす持続性のあるシステムづくり  
 ～元気なお年寄～

高齢者が活躍する街（介  
 護保険料が安い街） ③

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>サロンづくりの場所としてシャッター街を上手く活用 ②</p> <p>学校の空き教室を利用した高齢者が学べる場所の整備 ⑥</p> <p>高齢者が活躍できる(働ける)場づくり ⑤</p> <p>年寄りが生活していく上での利便性を維持するための対策が必要 ②</p> <p>ミニスーパーの整備 ⑥</p> <p>買い物用の巡回バスの運行 ⑤</p> <p>高齢者を中心に買物・通院・コミュニティ活動への足の確保（民間バス・送迎バスの活用） ⑦</p>		
ソフト	<p>単身高齢者が集まり、助け合える場づくり ③</p> <p>高齢者団体の色々な行事で市民が「交わる」ことが重要</p> <p>若い世代との交流が必要 ②</p>	<p>高齢者のコミュニティビジネスの取組みによる生きがいづくり</p>	
ハートづくり	<p>年をとっても一人で生活できるまちづくり ③</p> <p>パークゴルフやゲートボールを通じたコミュニケーション ③</p>		

高齢者クラブを通じてパワフルな高齢者が交流して心強い ②

高齢者の会合等の活動により街の活性化に貢献している

老人クラブの超高齢化対策

「愛のふれあい交流事業（社協）」が地域の親睦に繋がっている

「高齢化・市民活動部会」 戦略テーマ：若者（学生）から高齢者までのマンパワーを活かす持続性のあるシステムづくり ～市民活動（コミュニティ）～

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード	<p>高齢者と子どもが集える環境整備 ①</p> <p>何かしたい人が気軽に集まれるコミュニティ広場の整備 ④</p> <p>地域のサロンづくり等が必要</p>		
ソフト	<p>子ども世代を巻き込むような活動、世代がつながっていく活動が必要 ①</p> <p>まちづくり支援事業で他団体との出会いの場の設定が必要 ③</p> <p>新しい行事をやるにしても自治会の活動資金が不足 ①</p> <p>市民活動団体では優秀なスタッフの報酬を確保できない ①</p>	<p>活動が活発な自治会の役員を表彰するなど自治会活動にインセンティブを与えて活性化</p> <p>高齢者の大学利用</p>	<p>自治会の役員のなり手がおらず、また若手が自治会に入りにくい ①</p> <p>市民の10人に1人が学生という若い力の活用 ④</p> <p>若い人の意識の中で我がまちという意識が欠けているのが残念 ②</p> <p>地区単位や市全体で取り組むイルミネーションやアイスキャンダル</p> <p>花を植える活動（学校含む） ②</p> <p>市民活動団体で問題を抱えているはずなのに相談がない</p> <p>「大麻団地まちづくり指針」の具体化で、市の指導的役割が必要</p> <p>自治会の会費、排雪費を払わないという課題への対応 ①</p>
ハートづくり	<p>市民活動団体に人的余裕がない ②</p> <p>市役所の仕組み、業務に詳しい市民活動のブロの育成 ④</p> <p>独居老人の見守りを自治会でどう対応していくか ④</p> <p>若い人の意見・力の活用 ④</p> <p>主婦の意見・力の活用 ①</p> <p>お金以外の部分で協働するためのコミュニケーションや連携が必要 ①</p> <p>自治会などの市民活動が周知されていない ①</p> <p>女性自治会長、婦人部の人材がおらず女性の声自治会に反映されにくい ①</p> <p>広報を充実させ自治会に対する住民の意識の向上を図る ②</p>	<p>大学の行事への市民参加 ②</p> <p>学生を受け入れる受け皿が必要 ③</p> <p>市民活動の子育て事業に市の職員を研修で活用 ③</p> <p>市民活動団体と市の若手職員が話し合う場の設定が必要 ⑥</p> <p>行政は市民活動の現場を知らな過ぎるが必要 ①</p> <p>行政は市民ニーズを把握するため市民と一緒に考えることが必要 ②</p>	<p>4大学共同で年に1回市民も参加できる文化祭を実施</p> <p>4大学それぞれの得意分野を活かした技術開発と、それを対外的にプロデュース・PRする仕組みづくり</p> <p>学生のときに立ち上げたまちづくり活動を卒業後も続けられる仕組みが必要</p> <p>3地区合同でイベントを行えば一体感が生まれ経費節減になる ④</p> <p>3地区別々な活動で市全体のまとまりがあまりない ②</p>